

## 明田フォトプロジェクトについて

戦後復興期の広島を中心に、中国地方など各地を撮り続けた写真家 明田弘司 (1922~2015) が遺した 47,000 枚を超える貴重な写真資料が、広く活用され、後世に伝えられるようにすることを目的としています。

写真資料の使用を希望する団体や企業への貸し出しに加え、キャプションの提案など企画に協力させていただくこともあります。

メンバーは、著作権継承者代表(遺族)と被爆 50 年史を編さんした広島市OB、事務局の3名で、現在は新たな写真集の出版を目標に掲載作品の選定など、毎週木曜日を中心に活動しています。



明田さん 36 歳のころ / 昭和 33 (1958) 年



JR 広島駅南口工事 魅せる仮囲い第一弾「ヒロシマ・プライド」に、明田弘司写真集『百二十八枚の広島』表紙にもなったパノラマ作品が使用されました。第 42 回広島広告企画制作賞(屋外広告の部)受賞作品。



広島原子力平和利用博覧会の看板が設置された平和大通り緑地帯で遊ぶ子どもたち / 昭和 31 (1956) 年

平和記念資料館 情報資料室の企画展「青葉したたる 平和大通りのできるまで」にて、明田作品を 14 点も展示していただきました。被爆後の復興計画の中で、市の中心部を東西に貫いた「復興の背骨」平和大通りの建設過程を丹念に追った素晴らしい展示でした。



平和記念資料館と原爆ドーム / 昭和 27 (1952) 年

基町プロジェクト企画『基町を知りたい! 土曜日の先生』  
オンライン・トークイベント

# 写真家 明田弘司と、

<p><b>第 1 部</b></p> <p><b>広島の復興</b></p> <p>10月23日(土) 13:00~15:00</p> <p>明田弘司氏が、仕事の傍ら、60年以上にわたり撮り続けた広島の写真を見ながら、明田氏の活動を振り返ります。</p> <p>ゲスト: 森永恵利子 (明田フォトプロジェクト 著作権継承者代表) 松林俊一 (明田フォトプロジェクト 副代表 / 元広島市 市史編さん室)</p>	<p><b>第 2 部</b></p> <p><b>アーカイブ活動</b></p> <p>10月30日(土) 13:00~15:00</p> <p>明田弘司氏が遺した写真資料を保存・活用している「明田フォトプロジェクト」の活動内容についてお話を伺います。</p> <p>ゲスト: 梅森美帆 (明田フォトプロジェクト 事務局)</p> <p>写真: 明田弘司撮影 / 広島市中区基町の風景 (1955 年)</p>
--	--

広島市立大学と中区役所が連携し、地元住民とともに基町地区の活性化に取り組む「基町プロジェクト」よりお声がけいただき、オンライン・トークイベント『土曜日の先生』に2週にわたって出演しました。学生さんや若い世代にも明田作品の素晴らしさを知ってもらい、延期となっている写真展「明田弘司と基町(仮題)」の制作にも参加したいと感じてもらえるよう準備して臨みました。

★ アーカイブ ⇒ 「基町プロジェクト」ホームページからご覧いただけます。

### 音戸大橋開通 60 周年記念写真展 開催中!

おんど観光文化会館うずしお ~12月13日(月)  
警固屋まちづくりセンター ~12月13日(月)  
呉市役所 1 階ロビー 12月9日(木)~12月20日(月)  
※うずしおは火曜定休。展示は3箇所とも同じ内容です。



音戸大橋開通 祝賀式 橋上の群集 / 昭和 36 (1961) 年 12 月 3 日